

させほ夢大学

発行●公益社団法人 させほ夢大学  
編集委員会

事務局／〒857-0863  
長崎県佐世保市三浦町4-30・松蔵ビル3F  
TEL.0956-25-9555 FAX.0956-25-9545  
http://www.yumedai.com/  
E-mail:sasebo\_yumedai@yahoo.co.jp

開催ご案内 25-9556

# 夢のつづき

## させほ夢大学会報

No.298 <2021・1>

令和2年度  
第8回

2021年 1月18日(月)

アルカスSASEBO 大ホール

1部 開場 13:30  
講演 14:30 (終了16:00)  
2部 開場 17:30  
講演 18:30 (終了20:00)

今回の講師は、「情報ライブ ミヤネ屋」などテレビでおなじみのアメリカ人“パクン”と、日本人“マクン”の、お笑いコンビ「パクンマクン」のお二人です。

異国コンビのパイオニアとして1997年に結成。漫才、コントに加え、日米の差異を盛り込んだネタで人気を博しています。2003年にはラスベガスで、2007年にはハリウッドでのステージを成功させるなど、英語のネタにも積極的に取り組んでおられます。

秋のアメリカ大統領選をめぐっては、ハーバード大学卒のパクンが、国際政治コメンテータとしてテレビでひっぱりダコ！歯に衣



を着せぬ分かり易いコメントで、報道番組を盛り上げていました。

パクンは、東京工業大学の非常勤講師も務め、著書には「世界と渡り合うためのひとり外交術」、「パクンの『伝え方・話し方』の教科書～世界に通じる子を育てる～」、「大統領の演説」など多数出版されています。

今回の講演では、日本人のマクンが、アメリカ人のパクンにツッコミ、日本とアメリカそして世界の文化もマナーも時事問題も、日本人の私達に楽しく分かり易く伝えてくださると思います。

どうぞご期待ください!!

講師 ● お笑いコンビ **パクンマクン**

テーマ ● **パクンマクンの笑劇的コミュニケーション力**



次回のご案内

■と き／2月18日(木)

■講 師／精神科医 立教大学現代心理学部教授 **かやま リカ氏**

■テーマ／ストレスに負けずに元気に暮らす

●1960年北海道出身。東京医科大学卒。豊富な臨床経験を活かして、現代人の心の問題を中心にさまざまなメディアで発言を続けている。専門は精神病理学。「幸福の胸のウチ」「ココロの美容液」「若者のホンネ」「職場で他人を傷つける人たち」「悲しむのは、悪いことじゃない」等の著書あり。放送倫理・番組向上機構（BPO）放送倫理検証委員会委員を務めた。

今回の講演会は第3月曜日です。  
講演会は1日2回開催です。詳しくは裏面のお知らせを必ずお読みください。

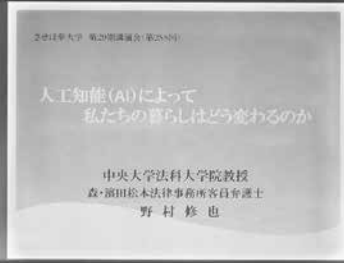
パクンマクンのプロフィール

●アメリカ人のパクン（本名：パトリック・ハーラン）と日本人のマクン（本名：吉田眞）のお笑いコンビ。1997年結成。異国コンビのパイオニア。漫才、コントに加え、日米の差異を盛り込んだネタで人気を博す。情報番組「ジャスト」でお茶の間に浸透。現在はテレビなどのメディアでの出演を始め、10年以上前から、精力的に講演活動も行っている。



# させぼ夢大学講演会

人工知能(AI)によって私たちの暮らしはどう変わるのか 講師/野村 修也 氏



野村修也 氏



人間にしかできない仕事とは何か  
北松浦郡佐々町 法本 安子

師走らしい冷え込みの中、恒例の折り紙ツリーが迎えてくれた今年最後の夢大学。講師の野村修也氏は報道テレビ番組のコメンテーターであり、法学者、弁護士で大学教授とエリートな肩書を持つ人気者である。

テーマが、AI云々とはピンとこなかったが聞いてゆくうちに面白くなって来た。先進国といわれたニッポンが、今は問題山積みの課題先進国となり、それを解決するための新しいビジネスチャンスが生まれている。

その解決策として人工知能AIの果たす役割の大きさは計り知れない可能性を秘めている。AIはインターネットとの融合によって驚異的な進化をし、それによって金融、教育、仕事、子育てなど、私たちの生活は大きく変わろうとしている。またそれらを取り巻く社会の仕組みやルールも大幅な見直しを迫られている。

AIに管理されるのではなく、人間が管理する社会であるべきで、人間にしかできない仕事とは何かを考えねばならない。

社会は何処に向かうのか、今私たちが何を考え、何を学んでいくべきか考えさせられる。AIを上手く使いこなす、少しでも住みやすい世界であってほしい。

## 1/18(月)の講演会当日、アルカスSASEBO会場にてのみ受付!

1. 定員は2000名。コンピュータによる**申込書単位**での「一括抽選」です。
2. 申込書は、**㊤夫婦・家族学生用**と**㊦個人またはグループ学生用**の2種類あります。いずれか一方でお申し込みください。申し込みは**お一人様1枚**とし、**両方で申し込まれた時は一方を無効**といたします。
3. **学生番号の未記入は受け付けられません。**

ご注意下さい

4. 夫婦・家族学生(3名以内・同居)、及びグループ学生で申し込まれる方は、**どなたかが現学生**であれば受け付けます。
5. 申込書は事前に記入してご持参ください。
6. 年間受講料は、**個人またはグループ学生1人20,000円、夫婦・家族学生1人19,000円**です。(各税込)  
グループ学生については、郵便物はお一人ずつの住所にお送りします。  
※個人情報厳重にお取り扱いいたします。

-----キリトリ-----

-----キリトリ-----

### A 夫婦・家族学生(同居の方)用 申込書

郵便番号		TEL ( )	
住所			
学生番号	002	性別	年齢
フリガナ			
① 氏名		男・女	歳
学生番号	002	性別	年齢
フリガナ			
② 氏名		男・女	歳
学生番号	002	性別	年齢
フリガナ			
③ 氏名		男・女	歳

### B 個人 または グループ学生(2~3名)用

※**個人**でお申し込みの方は、①欄にご記入ください。  
※**グループ**でお申し込みの方は、①~③欄にご記入ください。

個人学生記入欄	学生番号	002	性別	年齢
	フリガナ			
	① 氏名		男・女	歳
グループ学生記入欄(①~③にご記入ください)	学生番号	002	性別	年齢
	フリガナ			
	② 氏名		男・女	歳
グループ学生記入欄(①~③にご記入ください)	学生番号	002	性別	年齢
	フリガナ			
	③ 氏名		男・女	歳

学生専用 令和3年度・第30期受講申込書

# AIに管理されるのか？AIを使いこなすのか！



■吹雪く師走。百年周期とも言われるグレーな時世の霧の中、車内から見上げたクリスマスツリーの輝きは美しくライトアップされ、夢のつづきからも皆様のエネルギーなパワーを感じます。アナログの私も新しい電話やチップ入りカードでバスに電車にと努力中。野村修也氏の理解しやすい講話でAI、CSV、SDGs、etc 学習できました。初心にかえり一歩前進。恙ない新年になりますように。  
佐世保市比良町●岡井 眞紀

■私たちの生活に身近なAIの話はとても興味深いものでした。確かに教育、仕事、生活の中で、便利でなくてはならないものになっているが、私たち人間の使う側のルール・規制づくりが重要な事だと思った。あつという間の講演でした。  
佐世保市原分町●吉村 和美

■人工知能(AI)、何だか難しい課題に思えました。スクリーンを活用しながら、分かりやすい口調で、はっきりと伝えてくださいました。ガタガタと動いていたロボットの世界から、今は感情をコントロールしようとする「AI」でも、コントロールするのは人間でなければならぬと考えさせられました。  
佐世保市赤崎町●木村 典子

■講師は豊富な体験をもとに、演題に基づき映像と併せ細部に亘り、熱意に溢れた講義。若干難しくはありましたが、書面の記録を整理して勉強しようと思っております。大変ありがとうございました。  
東彼杵郡川棚町●岩崎 正

■野村講師がスライドなどで人工知能の話。少しは分かるつもりでしたが、AIが色々な所で使われているとは知りませんでした。分からないではなく、少しずつ学んでいかねばと思います。今年はコロナで大変でした。事務局の皆様、ありがとうございました。  
佐世保市木風町●西 照美

■人工知能(AI)によって、私達の暮らしはどう変わるのかという野村修也氏の講演。私達がルール面での指導力を使って、社会課題の解決を行うことが大事だとのことで、クラウドファンディング等、ネットで再確認できて勉強になりました。  
佐世保市栄町●曾我 菜穂子

■今後、AIで管理される社会になっても、人間でない出来ないものは何か。時代と共に機械化されて便利になった世の中を生きてきたので、答えを出すのは難しいですが、野村氏がおっしゃったように、「社会問題として、皆で考え、議論する」ことの重要性を学びました。  
佐世保市早苗町●牧 千尋

■AIは道具。この道具を生かすも壊すも人次第。倫理を遵守するルールを作って、これを上手く活用することを楽しく学びました。それにしても、このコロナ禍で「夢大学」を継続して頂いているスタッフの皆様には心からお礼申し上げます。本当にありがとうございました。来年も入学できますように…。  
佐世保市大和町●宅島 富士彌

## AI進化の憂い

佐世保市崎岡町 村井 政人

野村氏のAIの講話で、現在はまだAI時代到来中である。都会・地域に関係なく生活の中に完全に入り込んできている。AI生活は便利な様で、色んな抜け道や落とし穴もあるみたいで怖い気がする。

外国では凶悪犯の皮膚下にICチップを埋め込んで出所後の行動を個人管理している国もあるそうで、将来、AI

が進化し、ICチップでクロイン人間が出没しないように願うばかりだ。

日本でも近年中にはマイナンバーカードで個人情報管理され、買物はカード・スマホ決済のみの時代も見えてくる。生活環境を守る為の、AI進化の歯止めも非常に大事だと感じました。

デジタル教育のクラウド化も理想としては理解できますが、子供達には日本の未来を背負う人間として成長するた

めの、血の通った情操教育が先決ではないか？とも思いました。

## 未来は楽しみがいっぱい

西松浦郡有田町 庄村 雅子

我が家にルンバがきてから3年、毎日部屋全部をきれいに掃除してくれます！充電が少なくなると赤いランプで知らせしてくれ、掃除機に勝る仕事をしてくれて、無くてはならない機械です。気が付いた

講演を聴かれた感想をお待ちしています！

※締め切りは講演日の1週間後(必着) ※宛先は、させぼ夢大学事務局まで

ら車も、冷蔵庫も洗濯機も知らせが多く、時にはうるさく感じますが、随分と助けてもらっています。新しい家電を買おうと驚き、感激して、操作についていくのがやっとなのですが、これからの暮らしはAIに支配されるのではないかと感じます。

人々の仕事もAIにとって代わられ、人間の仕事が限られてくると未来を予測する声も聞かれ、複雑な気持ちになります。暮らしが楽しくなれば良いと思います。完全自動運転の車が普及すれば何処に行くにも安心安全で旅行に行けます。電車、飛行機の旅行も楽しいですが、時間に合わせなくても何処でも行ける旅が当たり前になる時代が来るかもしれない。

この所コロナ感染者の増加が心配されていますが、是非AIにウイルスをやっつけて欲しいと願う日々です。来年度はマスク無しで伸び伸びと生活ができたらいいなと思っています。

世はまさに AI時代真っ只中



乗り遅れないように 野村先生教えて

## 令和3年度(第30期) 講演会予定

- 令和3年  
4月15日(木) 【開講式】 藪中 三十二氏  
18:30~20:00 『世界に負けない日本 一国家と日本人が今なすべきこと』
- 5月30日(日) 中野 信子氏  
14:30~16:00 『脳を科学する 一世界に通用する人がいつもやっていること一』
- 6月17日(木) 西川 きよし氏  
18:30~20:00 『人生は小さなことからコツコツと』
- 7月15日(木) 川口 淳一郎氏  
18:30~20:00 『やる理由こそが発想を生む 一はやさ2の新しい挑戦』
- 8月7日(土) 竹田 恒泰氏  
14:30~16:00 『古事記から学ぶ日本の未来』
- 9月16日(木) 百田 尚樹氏  
18:30~20:00 『これからの日本に必要なもの 一小説家百田尚樹の視点』
- 10月21日(木) 鴻上 尚史氏  
18:30~20:00 『表現とコミュニケーションのレッスン』
- 11月11日(木) させぼ夢大学創立30周年記念  
18:30~20:00 ミステリー講演会
- 12月5日(日) 森永 卓郎氏  
14:30~16:00 『これからどうなる！私たちの暮らし』
- 令和4年  
1月25日(火) 井村 雅代氏  
18:30~20:00 『夢に向かって』



## 大切なお知らせ

- 1月18日の講演会は、新型コロナ感染による3密を避けるために、**1日2回講演**にて実施します。**第1回目講演は14時30分から、第2回目講演は18時30分から**です。
- 1回目講演と2回目講演の振り分けは、「**入場証(1月分)**」を郵送してお知らせします。
- 各講演の時刻表等を記載した**入場証に、必要事項をご記入の上、学生証と共にご持参ください。**
- ご入場の際は、手指消毒・検温をしますが、**体調の悪い方は入場をご遠慮ください。**
- マスクを着用し、会話は出来るだけ控えてください。
- ホールの客席は一席ずつ空けてお座りください。また、席取りはご遠慮ください。
- 1回目と2回目の入れ替え時には、ホール座席等の消毒及び清掃をしています。
- 携帯電話等の各種電子機器は、電源を確実にお切りください。**
- 学生ご本人が欠席で代理出席の場合も、必ず、学生証と入場証をご持参ください。もし、両方ともない場合は、万が一、感染者が発生した場合、補足追跡ができませんので、入場をお断りすることになります。

皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

## ふるさと 地球科学紀行

- Vol.8 -

### 伊能忠敬の天体観測

長崎県地学会 松本 直弥

江戸時代後期、全国の精緻な地図を作り上げた伊能忠敬が、前人未踏の測量事業を始めたきっかけが、緯度 $1^{\circ}$ の長さを探り、地球の大きさを求める、という個人的探究心にあったことはよく知られています。

その後、地図製作は幕府の事業となつて伊能の足跡は日本全国に及び、その第8次測量で長崎県も訪れています。1811(文化8)年11月25日に江戸を出発し、薩摩などの測量の後、肥前へ入り、佐世保で文化10年の正月を迎えました。

忠敬は地上の測量だけでは誤差が積み重なっていくため、要所所で天体観測を行って緯度経度を求め、補正を加えることにしました。17年間の全測量日数3753日のうち「測量日記」には1335日が記録されており、晴れた日には欠かさず天測を行っていたことがうかがわれます。



写真1: 江迎町「伊能忠敬木星観測乃地」碑

まず象限儀という円を1/4にした器具を用いて星の高度を測り、緯度を求めました。伊能図の緯度は非常に正確だとされます。問題は経度の測定でした。伊能隊は日食、月食、木星とその衛星の交食現象を、江戸、大坂、旅先の3地点で同時に観測して、食の開始時刻などの時間差から経度差を求めようとした。垂揺球儀(すいようきゅうぎ)という振り子時計で、現象直前の太陽南中時刻から現象開始・終了までの時間を計り、江戸・大坂での同時観測結果と対比しようとしたのです。

木星の小星の凌犯現象(木星がガリレオ衛星を隠したりする現象)は、1805年の第5次測量から行われていますが、伊能隊と幕府天文方が同時観測した記録は現存していません。非常な努力を払ったにもかかわらず、残念ながら観測結果を測量に活かすことはできなかったとみられます。

江迎町長坂には、伊能忠敬が木星観測を行ったことを記念する碑が建てられています。



写真2: 伊能忠敬相浦地区測量二百年記念碑

念する碑が建てられています。江迎行政センター裏のつづら折りの急坂を登り上がった所です。ただし、1813(文化10)年の日記には「正月二十六日...江迎村長坂逗留シテ測ル。昨日ハ木星小星凌犯ヲ測ル。測ラズ」とあり、実際には、木星の衛星の食現象を観測しようとしたが、天気が悪くて観測できなかったようです。

この他にも伊能忠敬の測量を記念する碑が県内各地に建てられており、相浦「あいあいプラザ」構内には、伊能の測量200年を記念する地元有志の碑が建立されています。なお、ガリレオ衛星の現象は、レーマー(デンマーク)が1676年に世界で初めて光の速度を求めるのに利用したという歴史があり、その中のエウロパには液体の水が存在する可能性があるとして、現在も注目されています。

**講演を聴かれた感想をお待ちしています!** 600字程度にまとめて、させば夢大学事務局まで、郵便・FAX・メール等でお送りください。締切日は原則として、講演日の1週間後(必着)です。